

大阪国際フォーラム

第5期（平成25年度）事業報告書

平成26年6月20日

国際交流都市大阪の更なる発展と文化の興隆に寄与するため、当フォーラムでは、厳しさを増す日中関係のなかで新たな交流の道を探る取組みや、有力者や海外からの著名人を迎え、関西・大阪の活性化に繋がる会議、また、音楽を通じての交流事業をはじめ大阪の中心である中之島地域を広く紹介する事業に取り組んでまいりました。

平成 25 年度においては、共催事業として関西文化力会議、「関西から東京オリンピックの意義を考える」講演会や「沈壽官 特別講演会—薩摩焼と朝鮮陶工の命脈」開催や、恒例となった中之島国際音楽祭を海外のアーティストを迎えて開催しました。

なお今期には、(株)大阪国際会議場からこれまで当フォーラムが使用してまいりました事務所や人件費の一部を負担するように求められ、その資金へ充当するため、無利息で借入を行いました。

また、予定しておりました「ジャーナリスト会議」は事情により開催するにいたりませんでした。

フォーラム会員は25年度末で110名となりました。

(1) 日中間交流事業

昨年に引き続き、江蘇省（南京）との交流事業について、江蘇省政治協商会議のリーダー等との会談を通じて、新たな民間レベルの交流の道を探りました。

また、中日国交正常化 40 周年を記念して発刊された日本全国の名勝紹介「中国ゆかりの地」を題材に、市民レベルの観光や交流に資するための、中国TVを活用した広報事業について企画検討しました。

(2) 中之島国際音楽祭 2013

恒例となった「大阪から世界へ」つなぐクラシック音楽の祭典を、10月14日（月・祝）、大阪国際会議場で開催しました。今回は、ワーグナー・ヴェルディ生誕 200 年を記念して、台湾からのスーパーピアノデュオと実力あるバリトン歌手にソプラノ歌手、テノール歌手を迎え、来場者の皆さんと賑やかに開催することができました。

当日のプログラムの概要は次のとおりです。

・葉緑娜&ロルフ=ピーター・ヴィレ

ワーグナー（タンホイザーから夕星の歌）

シューベルト（幻想曲へ短調） ほか

・声の力 ヴェルディ

泉 貴子（ソプラノ）田中 勉（バリトン）山口 安紀子（ソプラノ） 笛田 博昭（テノール）

ヴェルディ（仮面舞踏会より永久に君を失えば）
レオンカヴァッロ（道化師より衣装を着ろ） ほか

（3）関西・大阪文化力会議

「文化はアジアの平和に貢献するのか」をテーマに、東アジア地域との緊張が高まるなかで、中国との相互理解や関係改善に努めながらも広く東南アジアとの連携強化を探るため、日本が選択すべき文化戦略について、講演とパネルディスカッションを大阪国際会議場で行いました。

会議は、ハーバード大学名誉教授のエズラ・ヴォーゲル氏による「鄧小平の描いた発展戦略は成功したか」と題した基調講演ではじまりました。さらに講演内容を深めるため、ヴォーゲル氏と防衛大学校長国分良成氏、大阪国際フォーラム会長萩尾千里による鼎談が行われました。ついで、「海洋国家日本の将来と関西」をテーマにパネルディスカッションが行われ、これには文化人や有識者として防衛大学校長国分良成氏、前文化庁長官 近藤誠一氏、落語家桂文枝氏、同志社大学長 村田晃嗣氏、東京大学大学院教授 園田茂人氏の各氏が登壇し、熱気あふれる議論が展開されました。

なおこの会議は、関西・大阪 21 世紀協会と共同開催し、延 1450 人が参加しました。（9 月 1 1 日開催）

（4）講演会「関西から東京オリンピックの意義を考える」の開催

近畿商工会連合会との共催により、文部科学大臣・東京オリンピック・パラリンピック担当大臣 下村 博文氏を迎え、「日本全体で盛り上げる東京オリンピック」と題して講演していただきました。

オリンピックは一都市東京だけの行事ではなく、オールジャパンの行事でとらえていくべきであり、特におもてなし等の和の文化の蓄積が深く、また豊富な関西の力が必要であると語られました。

講演会はシティプラザホテルで開催され、300 の方が参加されました。（平成 26 年 3 月 1 日開催）

(5) 講演会「沈壽官 特別講演会—薩摩焼と朝鮮陶工の命脈」の開催

第 15 代の沈壽官氏から、1598 年に豊臣秀吉により朝鮮半島から鹿児島に連れてこられた朝鮮陶工が、日本を代表する陶磁器「薩摩焼」を創造する足跡や、400 年にわたる日韓の交流の歴史を語っていただきました。

講演会は駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院と大阪国際フォーラムとの共催でリーガロイヤルホテルにおいて開催され、250 名の方が参加されました。(平成26年3月15日開催)

(6) 中之島今昔案内第4号の発刊

大阪の経済・文化の中心である「中之島」及びその周辺地域に、多くの方が訪れてもらえるよう、創刊号・第2号・第3号に引き続き、ハンディタイプの案内地図を20万部発刊し、駅や公共施設、長距離バス発着場など160箇所に配布しました。また大阪国際会議場等で開催される大型の会議においても配布して参ります。

第4号では、大阪大学招聘教授高島 幸次氏による「中之島の橋と端」と題したコラムなどのほか、中之島にかかる「橋」のミニ歴史を紹介するとともに、大阪の食文化を楽しんでもらえるレストランによる案内等を掲載しました。

平成25年度 収支報告

大阪国際フォーラムの平成25年度事業につきまして、下記のとおりご報告します。

収入の部	予算計画	決算額	
事業名	金額	金額	摘要
会費収入	5,500,000	5,009,895	
興行収入	300,000	604,246	中之島国際音楽祭
協賛金(広告収入)	2,000,000	1,060,000	中之島今昔案内
預金利息		604	
繰越金	4,855,373	4,855,373	24年度繰越金
借入金		5,300,000	
計	12,655,373	16,830,118	

支出の部	予算計画	決算額	
事業名	金額	金額	摘要
日中交流事業	400,000	379,184	打合せ経費
中之島国際音楽祭	1,300,000	2,336,902	
2013開催		2,002,387	出演料、会場使用料、企画料、招聘旅費等
2014開催準備		334,515	会場使用予納金等
関西・大阪文化力会議	1,200,000	1,315,463	共催分担金
ジャーナリスト会議	800,000	0	
中之島今昔案内発刊	2,300,000	108,530	デザイン費等
負担金		7,350,000	(株)大阪国際会議場への負担金
運営事務費	3,650,000	3,401,211	人件費、事務所費、交通費、通信費、振込手数料等
内人件費		2,015,600	うち人件費
予備費	3,005,373		
計	12,655,373	14,891,290	

繰越金		1,938,828	
-----	--	-----------	--

平成26年5月31日

大阪国際フォーラム

会 計 寺 田 千 代 乃



監査報告書

私会計監事は、大阪国際フォーラムの第5期（平成25年4月1日から平成26年3月31日）の業務の執行について監査をいたしました。

その結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

会計監事は、事務局から業務の報告を受け、関係書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び付属書類につき検討を加えました。

2 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支報告書の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 収支報告書は、法令に従い、大阪国際フォーラムの財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。

平成26年 6月17日

大阪国際フォーラム
会計監事 川越

